

症状か、原因か

極端な二極化が進んでいるアメリカで、左派、右派、中道を問わず、意見が一致していることが少なくとも一つあります。それは過去 60 年のどこかで、アメリカ経済に何か大きな問題が生じ、今日も引きずっているということです。

その問題とは何でしょうか？ 政治家、エコノミスト、評論家によって説明は異なりますが、経済成長と生産性の発展や改善が遅すぎる、所得分配が偏りすぎていること、住宅が手ごろな価格で買えないこと、米国内の製造業の規模が小さいこと、などでは概ね一致しています。

左派はしばしば「強欲」や「資本主義」、あるいは単に「遅れた資本主義」を非難し、金持ちへの増税を提案します。よく聞けば、彼らは資本主義の最大の悪は「気候変動」を引き起こすことだと主張しています。また、彼らは通常所得と投資から得るインカムに対する税率の引き上げを望んでおり、ひいては投資の含み益に対する富裕税の導入さえ口にしつづけます。そうすれば、そのお金を適切な人々や場所に再分配し、アメリカが直面しているすべての経済問題を解決できると考えているのです。

右派の多くには、異なる見解があります。最近、タッカー・カールソンとのインタビューで、ロバート・ライトハイザー元米国通商代表がこのような見解を語りました。彼によれば、過去 40~50 年にわたる世界貿易の自由化の動き、自身が「ハイパー・グローバル化」と呼ぶものが、多くの経済的・社会的問題の根底にあるということです。

製造業がグローバル化するにつれて、アメリカの構造も変化しました。アメリカ経済は減速しただけでなく、国の構造も変わってしまったのです。第二次世界大戦直後、富裕層も貧困層も中流階級も同じ町に住み、共存した時代と比べると、多くの地域では共同体意識が失われていると彼は主張します。

彼の主張はデータにも裏付けられています。鉱工業生産データによれば、製造業は過去 25 年間でわずか 4.3%しか成長していません。これは年率換算ではなく、通算で 4.3%です。つまり年率換算ですと 0.2%しか成長していないこととなります。造船業のように、政府からの大型契約がなければ競争力を失う産業もあります。

どちらの見解にしても、問題の根本ではなく、その症状に対処しようとしているのです。これは、食料供給が我々の健康を阻害している（肥満、糖尿病、免疫システムの低下）という議論に似ています。これらの症状を治療することによって、根本的な原因を無視しているのです。

「部屋の中に象」がいるので（つまり、タブーな話題である為）それを分析に取り入れる人はほとんどいません。その象とは、連邦政府の規模と範囲が大幅に拡大していることです。（官僚制度と再分配のインパクトを理解するため）国防費を除いた連邦政府支出を見ると、1950年代にはGDPの7%でした。1960年代には10%に上昇し、1970年代には14%に上昇しました。1980年から2000年にかけては安定していましたが、その後再び上昇し始めました。そして2020年代には、国防費以外の政府支出は平均でGDPの23%までに達し、1950年代の3倍以上にまでなりました。

政府の支出はすべて民間部門から引き出されるため、政府が大きくなればなるほど民間部門は小さくなるのです。アメリカ連邦政府、州政府、地方政府などの自治体すべての支出に規制コストを加えると、政府は全生産の50%以上を仕切っている（あるいは阻止している）こととなります。貯蓄率が低く、住宅価格に手が届かず、製造業が海外移転し、経済成長率が低迷しているのも不思議ではありません。

多くの点で、我々はすでに資本主義を放棄しているのです。これ以上強く放棄、あるいは保護主義に向かうことは、真の解決策ではありません。我々は、政府の規模そのものを縮小すれば、経済的な問題を含め、ほとんどの問題は解決できると考えています。

DOGEが連邦政府の財政再建を支援し、その支出を縮小させれば（短期的ではなく）長期的にはアップサイドが期待できるはずですが、確かに短期的には破壊的かもしれませんが、このような政策は、症状ではなく原因の根本から経済危機を解決するために必要なものなのです。

発表日時 (米国中部時間)	米国経済指標	コンセンサ ス	ファースト トラスト予測	発表結果	前回
3-25 / 9:00 am	新規住宅販売高 - 2月	0.680 百万	0.677 百万		0.657 百万
3-26 / 7:30 am	耐久消費財 - 2月	-1.0%	-1.5%		+3.2%
7:30 am	耐久消費財 (除く輸出機器) - 2月	+0.2%	+0.3%		0.0%
3-27 / 7:30 am	新規失業保険申請者数 - 3月22日	225,000	224,000		223,000
7:30 am	GDP - 第4四半期 - 最終値	+2.3%	+2.4%		+2.3%
7:30 am	GDP連鎖物価指数 - 第4四半期	+2.4%	+2.4%		+2.4%
3-28 / 7:30 am	個人所得 - 2月	+0.4%	+0.4%		+0.9%
7:30 am	個人支出 - 2月	+0.5%	+0.4%		-0.2%